

平成25年度 第1回
東京外環地下水検討委員会

資料

これまでに実施した地下水位観測について

平成26年3月20日

国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所
東日本高速道路株式会社関東支社 東京外環工事事務所
中日本高速道路株式会社東京支社 東京工事事務所

これまでに実施した地下水位観測について

○東京外環(関越～東名)の沿線における地下水位の観測は、環境影響評価時に設置した観測井の他に、『善福寺池』、『八の釜の湧き水』の調査・検討に用いた観測井や設計・大深度地下使用に向け実施した地質調査のボーリング孔を活用し、平成22年度より継続観測

① 観測位置 89箇所

【浅層地下水】

- ・ 開削区間周辺は大深度区間周辺より観測井を密に配置する。
- ・ 環境影響評価時に影響が予測された開削区間周辺の河川沿いの沖積低地に1箇所は観測井を配置する。

【深層地下水】

- ・ 深層地下水の観測井については、500m程度の設置間隔を目安として路線全体に配置する。
- ・ 深層地下水の帯水層は、各種の水源井戸の取水対象として考えられることから、各帯水層に対して1箇所は観測井を配置する。

② 観測期間 平成22年4月～

③ 観測方法 地下水位計(自動計測)の地下水位データを概ね1ヶ月に1回の頻度で収集

